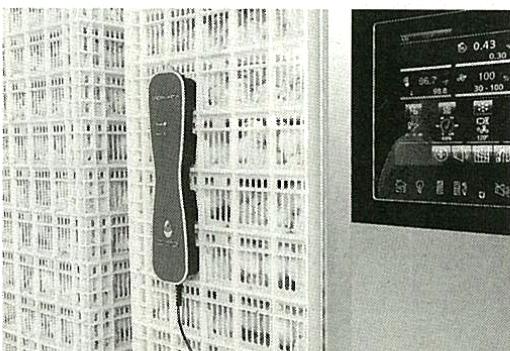


ダイナミック・ウェ イトロス・システム



シンクロ・ハッチ

社長一本社・岐阜県各務原市テクノプラザ2-10)は、種鶏場設備から孵化場設備までの効率的な一貫体制を目指し、世界の孵卵機市場シェアの約30% (昨年実績260万台、入卵能力ベース1・6億卵) の実績を有するピーターサイム社(本社・ベルギー)と提携した。

ハイテム ピーターサイム社と提携 種鶏場、孵化場の一貫設備目指す

ハイテムの事業は、レ
イヤー、ブロイラーのコ
ーチャル農場設備が主
力であるが、種鶏場設備
の取り扱いも増えていく
ことから、孵化場を中心
設備である孵卵機に取り
組み、ヒナ生産部門との
関係を深めていきたいと
している。

マー（2010年発売）
は、従来の温度、湿度、
炭酸ガスコントロールに
加え、新技術の確立によ
り、孵化率0・77%アッ
プ（フィールド平均デー
タ）と、ヒナ質の向上が
大きな特長となつてい
る。販売は次の通り。

に影響の大きい温度を的確にコントロールする。
②シンクロ・ハッチヒナの発生状況をセンサーで監視し、炭酸ガス濃度、温度、湿度の最適コントロールにより、ハッチウィンドウ（最初のヒナ発生から最終のヒナ発発した一連の技術は、種卵を鶏群ごとに管理でき、ビーターサイム社が開発したシングルステージ孵卵機で初めて可能になるも

始まるに予測している。ハイテムとピーター＝イム社は、中国をはじめ今後のアジアでの孵化設備の高度化をにらみ、ハイテム天津工場体制を活用したアジアでの現地生産も視野に入れている。また、バイオセキュリ

送システムで提携渉みの
が開発したハッチカーゴ
システムなどを提案して
いきたいとしている。

なお、これまでピータ
ーサイム社の日本代理店
は㈱セキネであったが、
ハイテムがアフターサー
ビスを含めて引き継ぐ。

重減少計測温度コントロール)。種卵は胚の成長に伴い、ヒナ発生までの間に水分が蒸発し、卵重が約11%減少する。この現象を計測し、胚の成長率(生までの時間)を約30%短縮し、ヒナ質を向上させる。

(3)オボスキャンニ=孵卵機内の空気温度ではなく、特殊センサーで種卵

の、ハイテムではレノ
ヤー、ブロイラーのコ
ーシャル農場大型化に伴
い、世界的な潮流にな
っている孵卵機のシンンダ
ルステージ化が日本でた

ティを折り込んだ種鷄場
と孵化場間の効率的な種
卵輸送システムについて
も、セッター一台車方式や、
オランダ・ツインパック
社(コマーシャル原卵輸

鷄鳴新聞